

インマヌエル中目黒キリスト教会 2014年12月14日聖日礼拝

アドベント第三聖日

「意外性の季節」

ルカの福音書 2章25節-33節

河村従彦牧師



- 25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められることを待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまっておられた。
- 26 また、主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。
- 27 彼が御霊に感じて宮に入ると、幼子イエスを連れた両親が、その子のために律法の慣習を守るために、入って来た。

28 すると、シメオンは幼子を腕に抱き、
神をほめたたえて言った。

29 「主よ。今こそあなたは、あなたの
しもべを、みことばどおり、安らかに
去らせてくださいます。

30 私の目があなたの御救いを見たから
です。

31 御救いはあなたが万民の前に備えられ
たもので、

32 異邦人を照らす啓示の光、御民
イスラエルの光栄です。」

33 父と母は、幼子についていろいろ
語られる事に驚いた。

説教

アドベント第三聖日

「意外性の季節」

ルカの福音書 2章25節-33節

河村従彦牧師



ルカの記録した賛歌

マグニフィカート（マリヤ） 1:46~55

ベネディクトゥス（ザカリヤ） 1:68~79

ヌンク・ディミティス（シメオン）
2:29~32

I 救いを見た

A 幼子を抱くことの意味

B シメオンの思い

C 救いを見る（救主に会う）
という神学的テーマ

II 見えるものと見えないもの

A 見えるもの

1 普遍性、合理性、客観性

2 問わないもの

(1) 存在について

(2) 不条理について

(3) 目的について

B 見える世界で勝負する人生観

C 見えないけど大切なもの

1 心

2 あす

3 尊厳

4 愛

5 祈り

III 見えないものを見る信仰

A きっかけ

1 驚き

2 神さまの働き、人間の小ささ

B 意外性への感性

1 意外な魅力

2 なぜ煙突からなのか

3 驚きによって気づくこと

C 見えない世界と信仰

1 見える世界 ～疑う心で知る世界

2 見えない世界～信じる心で知る世界

D 自分を赦す平安

1 去らせる、赦す

2 平安

しめくくり

サンタクロースを迎える心の感性
見えないところに視線を向けてみると……